



暖房器具からの火災を防ぎましょう！

これからますます寒い時期に入り、暖房器具を使用する機会が増えると思いますが誤った使い方や不注意による事故に注意してください。

暖房器具からの火災を防ぐポイント

1 衣類など可燃物の近くで使用しない。

(1) ストーブの上で洗濯物を乾燥すると、落下した時に火災となるおそれがあるのでやめましょう。

(2) カーテンや衣類・布団・ふすまなどのそばでは使用しないようにしましょう。

2 エアゾール缶などをストーブ・ファンヒータの上やそばには置かない。

エアゾール缶などをストーブ・ファンヒータなどの暖房器具の上や近くに放置していると、放射熱や熱伝導で過熱され、缶の内圧が上昇して破裂し、爆発するおそれがあるので絶対にやめましょう。

3 寝るときや外出するときには必ず火を消す。

(1) 布団などが接触して火災となるおそれがあるので、寝るときや外出するときは暖房器具等のスイッチを切る習慣を身に付けましょう。

(2) 電気ストーブ・石油ファンヒータは、長期間使用しないときは、誤ってスイッチが入ることを防ぐためにコンセントを抜きましょう。また、収納するときは電池を抜きましょう。

4 石油ストーブ等のカートリッジタンクの口金は確実にしまったことを確認してからセットする。

(1) 給油時は必ず消火し火が消えたことを確かめてから給油しましょう。

(2) カートリッジタンクへの給油は、石油ストーブ等とは別の場所・火気のない場所で行いましょう。

(3) 火気のないところで1度カートリッジタンクから灯油が漏れないことを確認してからセットしましょう。また、漏れてしまった油は良く拭き取りましょう。

